



ソファ周りがすっきり片づいているのは、ソファ下や背面などを収納スペースとして活用しているため。テーブル上の本もインテリアの一部に見える。



ソファ周りの
デッドスペースを活用

1,2 コーラのケースを模した木製の箱は、雑誌ストック用。ソファの下に収納している。裏にフェルトの足あてをつけて移動しやすいよう工夫をしている。3 DVDソフトは、縦型のオーディオ機器専用ラックに。タイトルが一目でわかり、取り出しやすいデザイン。



ソファの後ろから
ホームシアター登場

DVDを観るくつろぎのひとつ。迫力満点の映像が目の前で繰り広げられるスクリーンは、普段は取り外してソファの後ろに収納できるロールタイプ。



伸縮自在、狭い空間に
ピッタリのおしゃれ家具

4 パーティなど人がたくさん集まるときに両側が50cmずつ伸ばせるダイニングテーブルが大活躍。120cm、170cm、220cmの3通りのサイズに変化。最大サイズにすると10名まで座れる、頼もしい存在。



5 ソファテーブルはコンパクトに入れ子になるタイプを購入。バラしてそれぞれを別の場所で使える便利さも。
6 ダブルベッドサイズのソファベッドは、ネットショップでやっと探し当てたもの。ブラウン系のファブリックも部屋に自然に溶け込んでいる。サイズだけでなく、ソファにしたときの形状がよいかどうかにもこだわって選択。



Living



ペンダントライトは、光がうつすらブルーになるこだわりの逸品。正直さんが趣味で集めたミニカーは、コレクションケースに並べて見せる収納に。



コンパクトな空間の利点は動線が短いこと。利点を生かす上手な家具使いがワンルームの都会生活をサポート

43㎡のワンルーム。以前住んでいた部屋より狭くなったのですが、都市の中心という立地にひかれて、一昨年引っ越しをしました。住んでみて、ワンルームという間取りの便利さを実感。朝起きてから寝るまで、ひとつの空間で生

活のほとんどを完結できるから。狭いというマイナス面には、伸縮性のある家具や多機能の家具を使うて対処。頻繁に開くホームパーティでは、伸縮可能なテーブルを最大限に延ばして多人数に対応しています。

以前と比べて収納場所が少ないという欠点は、しまいきれないものをコレクションケースに並べたり、生活感が出すぎないようにディスプレイを工夫することでカバー。家具の素材や色を揃えることで、すっきり感をアップさせています。

酒井美也子さん
正直さん

神奈川県在住

自宅ウェブデザインをしている美也子さんとIT企業に勤める正直さん。おふたりの趣味を生かしたくつろぎの空間は、お友だちにも大好評。「MM STYLE」
<http://www.mm-style.net/>

2人家族
賃貸マンション 1K



酒井さんのすっきり収納の
point

1 サイズが変わる家具を使用

狭い空間を最大限活用するために、積み重ね収納ができるもの、伸縮性のある家具を選ぶ。またシンプルなデザインも重視。

2 使うところに収納

狭さをメリットにするために、目的ごとに収納する場所を考え、必要なものをわざわざ遠くまで取りに行かなくても、その場ですぐに取り出せる収納を心がけている。

3 すき間や目立たないところも活用

通常の目線では見えない場所や、ソファの下などのデッドスペースを逃がさず活用し、ちょっとした手間をかけて取り出しやすくなるよう工夫している。

4 引き出しごとに分類収納

機能別、目的別に引き出しに分けて収納している。引き出しを1回開けるだけでいっしょに使うものをまとめて取り出すことができるので、ムダな動きがない。



種類別に分けた引き出しを
さらに細かく仕切って

テーブル横のリビングボードには、来客用の食器やカトラリーなどを収納(普段使いの食器はキッチン内)。ワイングラスは、ふせて取り出しやすくしている。

キッチンとリビングの境の壁面が自宅オフィス。同じシリーズの机をふたつ並べて、見た目をすっきりさせています。

向かって左が正直さん、右側が美也子さんの机。机の間にデスクワゴンを入れたのは、ふたりとも椅子に座ったまま引き出しが利用できるように。

一般的なものより背もたれが高く幅広な美也子さんのオフィスチェア。狭い空間にしては、存在感が大きいけれど、一日の大半をこの椅子に座って過ごすため、居心地のよさを重視した選択です。

FAXつきプリンターなどのオフィス用機器は机の上や下に置き、機能性を重視。壁面の棚には、お気に入りの写真やテーブルウェアなどをディスプレイして、仕事スペースにもあたたかな生活感をプラス。仕事スペースを単なる無機質な空間にしないところに、美也子さんらしさが感じられます。

平日の大半を過ごす仕事スペースは家具&グッズ使いで居心地のよい空間に



日用品収納用のキャビネットの引き出しは用途別に分けて

7 常備している薬は取り出しやすい上段の引き出しに。8 下段にはテーブルクロスやクッションカバー、ベッド用のシーツなどのファブリックを用途別に分けて。9 一番下の引き出しには、パソコンや家電のコード類をまとめて収納。

リビング&ダイニングの壁面には、生活必要品のほとんどを収納できるキャビネットがすっきり並んでいる。

ドア用のフックにアクセサリをディスプレイ

5 キャビネットの扉に取りつけたドア用のフックに普段使いのアクセサリをかけたら、扉周りが装飾的な空間に変身。6 扉の中の上段には事務用品などを収納。



対面式キッチンの壁面部分を立体的に活用した仕事スペース。



机下デスクスペースにはキャスター付スチール棚。プリンターは机下のスチール棚の下棚に収納。上段には書類関係を。手前に引き出せば、サイドデスクとして活用できる点にも注目を。

Workroom



机の引き出しを開けてサブデスク的な機能に

狭い空間に置いたコンパクトな机。けっしてゆとりあるサイズではないけれど、引き出しは収納だけでなく、上手に活用。



家具の形が違っていても同じ材質で揃えたらすっきり！

収納スペースが少ない部屋への引っ越しを決めた後、部屋の寸法に合った最適な収納家具を探して見つけたのが、モータ・エン・カーサのチェスト。

真ん中のキャビネットだけは、以前から持っていたので、それに合わせて左右に付けたしました。色や材質が揃っているので、まるでつくりつけキャビネットのようにすっきり。取っ手などのデザインの違いも気になりません。

キャビネットには、衣類やベツドリネンなども入っています。

「衣類は、1年間着なかつたら潔く処分します。たくさん持っていない方がいいです。」

収納は家具に集中させ、リビングのソファ周りには、リモコンボックスとマガジンラックだけ。収納場所とくつろぎの空間とのメリハリをつけています。

使う場所のすぐ近くに
関連グッズはまとめて収納

1 お香関連のグッズは、すぐ下の引き出しにまとめて収納。2 衣類はソファベッドのすぐ後ろ、2台並んだお揃いのキャビネットに収納。左右をご夫婦で使い分け。



業務用ディスプレイ棚とMUJIのケースで、見せる収納

3 ネイルエナメルは、ネイルサロンで使用されている階段状のスタンドに。4 ネイルケアグッズは、素材を合わせてMUJIのアクリルケースに収納し、ショップのような機能的空間。



BATHROOM・LAUNDRY



スリムな籐かごに雑誌とペーパーストックを

ペーパーホルダーの真下のデッドスペースに置いたスリムな籐かご。本を読みたいときやペーパーの換えが必要とき、すぐに手に取れるおしゃれで便利な収納アイデア。

洗面・脱衣・洗濯・トイレがひとつのスペースに。既製の棚と手づくり小家具で充実収納

神奈川県 酒井美也子さん

洗面関係のすべてが集中しているため機能的で、ゆとりある空間になっています。広いため、動線が長くなりやすいという欠点もそれを補うために棚を手づくりし、必要な場所に必要なものを収納し、ムダな動きをカット。
白をベース色に、アクセント色にブラウン系を使い、落ち着いた雰囲気。扉つきの既製棚の中に、ヘアケア関係や、ドライヤーなど、見たいがうるさい日用品を収納。そのためゴチャゴチャ感がなく、全体をすっきり見せることに成功。



扉を開けてすぐ右にあったつくりつけの棚と、見た目とサイズが近い棚をIKEAで購入。収納量が倍になった。タオルや洗剤を収納。必要なときにサッと取り出せるように、タオルは山側を手前に。

スペースの仕切りとしても活躍。見かけもかわいい便利な手づくり棚

オープン棚には、グリーンを中心に置いて、ポプリ、キャンドルなど香りのグッズを収納。扉のある下段は、トイレで読むことの多いコミックを収納。奥には洗濯機があるので、ちょうどよく仕切りにもなっている。